

嵐山の史跡と自然散策の案内

三熊会ハイキング同好会
実施担当 ふるさと伝承科

嵐山は、源平争乱の雄、木曾義仲が生まれた地。鎌倉時代の武将で「坂東武士の鑑」と謳われた畠山重忠が館を構えた場所でもあります。中世の歴史に思いをはせ、緑と清流の自然豊かな里を歩くコースを計画しましたので、ご案内いたします。

- 1, 日時 2019年7月5日(金)
- 2, 行先 埼玉県比企郡嵐山町
- 3, スケジュール

集合：熊谷駅南口 8:15 :国際十王バス(森林公園駅行き)の乗り場は、熊谷駅南口階段を下りて右手奥(尚、寄居経由で武蔵嵐山に行かれる方は、武蔵嵐山駅前に 9:10 集合)

<国際十王バス> 熊谷駅南口 森林公園駅行き (8:20) → 森林公園駅(8:55) : (515円)

バスには、立正大学の学生も乗るため、熊谷駅南口に着いたら、すぐ列に並んで下さい。

<東武東上線> 森林公園駅 小川町行き (8:58) → 武蔵嵐山駅(9:03) : (165円)

武蔵嵐山駅出発(9:15)----菅谷神社(9:30~9:45)-----大平山登山口(10:30)-----

----大平山(11:00~11:20)-----嵐山溪谷バーベキュー場(12:00~昼食~13:00)-----

----菅谷館跡・オオムラサキの森(13:30~14:00)-----武蔵嵐山駅(14:30) (歩行距離:約8.4Km)

<東武東上線> 武蔵嵐山駅 池袋行き (14:47)→ 森林公園駅(14:52) : (165円)

<国際十王バス> 森林公園駅 熊谷駅南口行き(15:00)→ 熊谷駅南口(15:35) : (515円)

- 4, コースについて

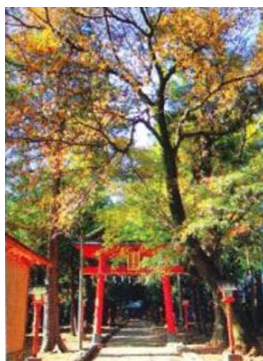
菅谷神社 :畠山重忠が武運長久の守護神として近江国の日吉山王権現の御分霊を祀った歴史ある神社

菅谷館跡 :鎌倉時代に畠山重忠が構え、戦国時代に廃城となった平城の跡で空堀や土塁が残る。

武蔵嵐山駅 : 開駅当時は土地の名から「菅谷駅」と云っていたが、京都の嵐山に似た風光明媚な景勝の地であることから、昭和10年に「武蔵嵐山駅」と改称。

昭和32年、週間読売選定新日本百景にも選ばれた。

- 5, その他
 - ・昼食は準備してください。
 - ・雨天中止(中止の場合、前日までに連絡します。)



各科幹事：福祉・環境科	笹沢 修 sasazawa2910@triton.ocn.ne.jp	080-2675-3800
ふるさと伝承科	小原誠一 sei1@jasmine.ocn.ne.jp	070-6405-7008
美術工芸科	関根恒夫 T-Sekine@kph.biglobe.ne.jp	090-2720-6062